

## 徒弟制度の普及

## 壁量の確保

## 輪島塗の技術活用

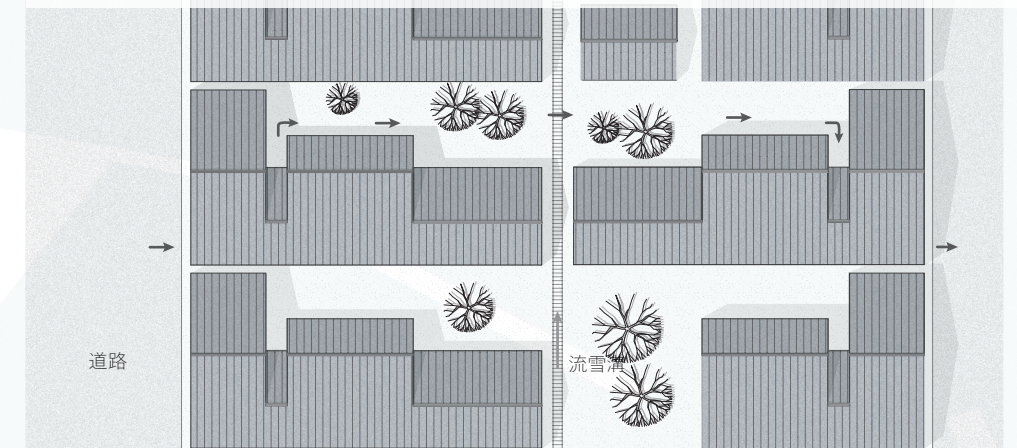
## 土蔵の強化

## 回遊性の向上

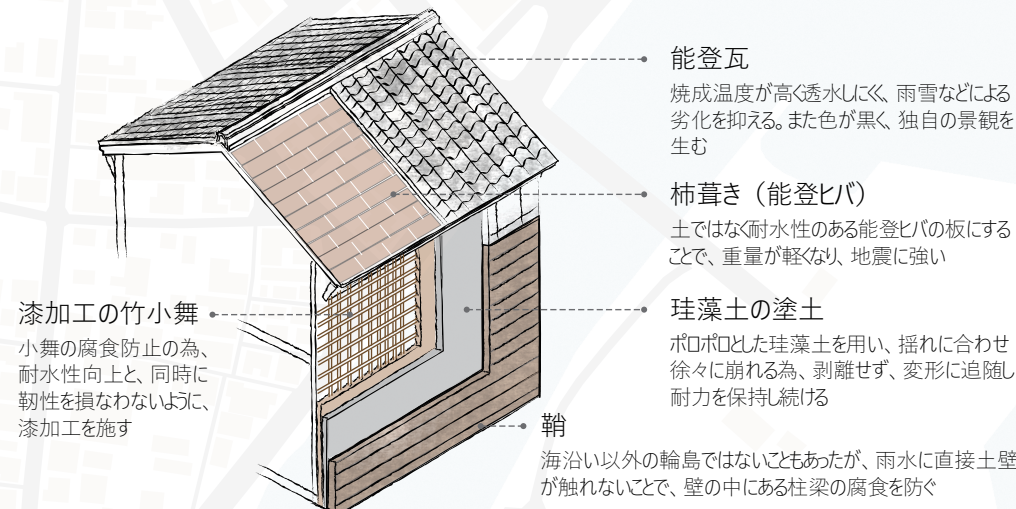
## 避難経路の確保

### 背割に沿う流雪溝

道路と反対側で隣接する敷地に抜ける、複数方向の避難経路を確保する。加えて、裏側の町家も同じ形態をとることで、観光客や地域の人々の回遊性を高めて、まち歩きをさらに魅力的にする。また背割線に沿う流雪溝によって、裏庭にたまる積雪を処理する。



漆器業の振興において核となるのが、土蔵の強化である。製造や保管に必要不可欠でありながら、輪島の多湿な気候において腐食が進み、最も地震被害が集中した。そこで、輪島塗の技術である漆塗・地の粉（珪藻土）を、能登ヒバの加工を用いた土蔵の強化で、技術の利用可能性を高めると同時に、耐震性を向上させる。



縦に長い町家の壁量は、通り庭によって道路と平行な壁が不足する。そこで通り庭を分節することで壁を確保する。輪島塗の継承のため、外部者の弟子入りを促進する必要がある。分節によって増えた私的な空間は師弟の二世帯住宅となる。また高齢化著しい漆器業で、弟子と同棲することは、高齢者の災害時における対応にも寄与する。

